

ザルツブルグ モーツァルテウム大学 ピアノ科教授 特別講座

ロルフ・プラッゲ教授

ワークショップ&公開レッスン

2019年3月1日(金) 13:00~18:00

於：東京学芸大学芸術館 学芸の森ホール 入場無料



主催：東京学芸大学音楽・演劇講座
通訳：中地雅之（音楽科教育学研究室）

ワークショップ 13:00~14:30

練習に関する原則的な考え方について講話の後、受講生が課題と
感じている部分の練習方法等に関して具体的にご指導いただきます。

伊藤綾乃(1M) 長澤佳奈子(1M) 宮脇奈々子(3A)
音楽科教育特論A(大学院) 音楽教育特別研究B(学部) 受講生

公開レッスン 14:45~18:00

- L. v. ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第23番 Op.57「熱情」第1楽章
3B 中嶋悠斗 (野田クラス)
- C. ドビュッシー: 練習曲集より
3B 高間春香 (野田クラス)
- A. スクリャービン: ピアノ・ソナタ第4番
4B 勝山由唯 (椎野クラス)
- A. スクリャービン: ピアノ・ソナタ第3番 第1・2楽章
1M 長南敦也 (中野クラス)

Prof. Rolf Plagge **ロルフ・プラッグ教授**

ロルフ・プラッグ教授は、1959年生まれのドイツ出身のピアニストで、国際的な演奏活動を展開している。フライブルグ、ウィーン、ニューヨーク、ハノーファーの各音楽大学で、V.マルグリリス、P. バドゥラニスコダ、G. シェンドール、K.H. ケマリングに師事。その間に、チャイコフスキー、エリザベート、ブゾーニ、ミュンヘン、ボン、ソルトレーク等、主要な国際コンクールに上位入賞を果たしている。

ドイツ・オーストリア国内はもとより、フランス、ベルギー、ポーランド、ロシア、アメリカ、イスラエル、メキシコ等の各国オーケストラと共演し、ソリストとして国際的に活躍している。また1988年より、ヴォルフガング・マンツと、ピアノ・デュオ“王妃エリザベート”を結成し、アンサンブル活動にも力を入れている。

CDの録音も多く、ソロでは、ベートーヴェン（熱情ソナタ、協奏曲4番）、リスト（ソナタロ短調）、ラベル（夜のガスパール）、スクリャービン（ソナタ5番）、シマノフスキー（初期作品集、ソナタ全集）、ヘンツェ（協奏曲）等が、デュオでは、モーツァルト（ソナタ）、シューベルト（幻想曲）、ドビュッシー（白と黒で）、ラフマニノフ（組曲1・2番）、ストラヴィンスキー（ペトルーシュカ）等があり、幅広いレパートリーを有している。

1991年よりザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学の教授に就任し、ザルツブルグのサマーアカデミーを初め、各地からマイスターコースの講師として招聘されている。また、ドイツ、オーストリア、フランス、ベルギー、ロシア、日本等各地の国際コンクール審査員も務めている。